

## ニュージーランド海外交流事業派遣報告書に寄せて

校長 関田 晃

グローバル化先進校としての取組を進める本校が、夏休みの生徒海外交流先として、従来のオーストラリアに加え、新たにニュージーランドを選定し、生徒の派遣を実施して4回目になりました。訪問校はクライストチャーチ近郊のカイアポイ・ハイスクールです。

1回目の実施に際しては、校長である私も派遣団出発に少し遅れてニュージーランドへ私的海外旅行として赴き、カイアポイ・ハイスクールを表敬訪問して、生徒諸君の現地での活動を見て来ました。(残念ながら先に帰国もしましたが……)

今回、2018年のニュージーランド海外交流事業に参加してくれた皆さんは、現地での学校生活やホームステイで、他では得がたい貴重な経験をして来たことと思います。言語の違いだけではなく、文化や風土の違いを感じ、ものの見方や考え方の違いに気付かされた人も多いと思います。一方で、人の温かさや自然の美しさ、大切にしていることや守りたいものなど、国の違いを超えて共通していることにも、多く気付かされたのではないのでしょうか。

その「気付き」を忘れず膨らませていくためにも、これまでに参加した先輩方のように現地のバディやホストファミリーと、時折でもメールや手紙で交流を続けてくれることを期待しています。そしてこれまでにカイアポイ・ハイスクールを訪れた80名余りの西高生の一人として、ニュージーランドとの縁を大事にし、ひいては広く海外と交流することの大切さを実感して、今後の人生をより豊かで彩りあるものにして貰いたいと思います。

さて、大宮西高校としては最後の年になる2019年の夏にも、カイアポイ・ハイスクールに5回目の派遣を希望しています。しかし、これまで3年生が希望して参加した例がなく、さいたま市からの補助金が貰えるかどうかも現時点では分かりません。できれば3年生の夏休みであっても、10名に近い希望生徒を派遣したいと考えています。

また、大宮西高校の後を継ぐ大宮国際中等教育学校でも、皆さんや皆さんの先輩方がこれまでに結んだくれた絆を大切に、カイアポイ・ハイスクールを含むニュージーランドのクライストチャーチ近郊の学校と引き続き交流していけるよう、計画を進めています。

皆さん自身も、是非またニュージーランドを、クライストチャーチを、カイアポイの町を、自分自身のプランで訪問し、お世話になったバディやホストファミリーと再会し、旧交を温めてください。そして、西高の研修では訪れることのなかったテカポ湖の満天の星空や、マウントクックの雄大な氷河や、できればミルフォードサウンドやクイーンズタウンまで足を延ばして、見聞を広げて欲しいと願っています。

皆さんは、カイアポイ・ハイスクールでの体験がきっかけになって、それまでよりずっと海外が身近に感じられるようになったと思います。これから先、世界中で起こっている様々な問題に目や耳を向け、文化や国籍の違う人たちと当たり前のように手を携えて、平和でより善い世界を構築していくことを心掛けて欲しいと思います。

皆さんがこれからますます大きく成長していくことを、心から期待しています。